

長崎県の労力支援システムの現状と 今後の展開について

長崎県農業経営課

◇ **ながさき農援隊設置事業**

米国に始まったリーマンショックの影響を受け、国内においても雇用不安が顕著となる中、平成20年10月、国は平成20年度第2次補正予算において、ふるさと雇用再生特別基金事業（予算規模2,500億円）を創設した。

この基金事業は、雇用失業情勢が厳しい中で、離職した失業者等の雇用機会を創出するため、各都道府県に基金を造成し、各都道府県及び市区町村において、地域の実情や創意工夫に基づき、雇用の受け皿を創り出す事業を行うもの。

本県でもこの基金事業を活用し様々な事業を実施しているが、「ながさき農援隊設置事業」はその事業の一つであり、平成21年度から平成23年度の3年間実施した。

◇ **ながさき農援隊設置事業**

本事業の概要は、農協等が離職者等を雇用し農援隊を設置し、労働力不足の認定農業者に対し隊員による農作業支援を行うとともに、隊員には農作業の中で農業技術を習得させ、実践力の高い新規就農者の育成を図る。

◇ **ながさき農援隊設置事業（県全体）**

年度	予算額	決算額	実施主体数	隊員数	オペレーター数	計
21年度	300,000 千円	283,351 千円	8	136	13	149
22年度	539,000 千円	489,089 千円	8	193	14	207
23年度	590,000 千円	563,850 千円	8	191	15	206
計(延べ数)			8	520	42	562

ながさき農援隊設置事業 【県事業】

事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業

事業概要

農協等が離職者を農援隊員として雇用し、認定農業者への農作業支援を行いつつ、隊員には農作業を通じて、農業技術を習得し、実践力の高い新規就農者の育成を図る。

委託先

県内農業協同組合
県農業法人協会

新たな雇用創出数

延べ603人

事業費

約133,629万円

事業期間 (最長3年間)

平成21年6月
～
平成24年3月

雇用以外の効果 (成果)

事業実施期間中、認定農業者の支援を通じて、86名の方が新規就農（農業法人就業含む）に繋がっています。

基金事業としては平成23年度に終了しましたが、委託先で、59名の方が継続して雇用されています。

また作業支援により、利用農家の規模拡大、産地拡大等に繋がるとともに、県下各地域で継続性のある労力支援システムの構築に取り組まれています。



いちごの植付準備の支援



みかんの収穫作業支援

◇ 地域労力支援システム構築推進事業

(H24～26年度)

●農援隊事業終了後、有償で継続的に地域全体の労力調整を図る仕組みづくりを支援するため、県（振興局）・市町・農協等で構成される「地域雇用労力支援協議会」の運営と担い手と作業支援者のマッチングを行うオペレータ設置費等を助成することで、労力支援システムの構築と実証に取り組んだ。

◇ 地域労力支援システム強化支援事業

(H27～29年度)

●地域雇用労力支援協議会が行う、地域内労力の実態調査、地域で周年雇用が可能となる品目組み合わせ提案、農家の労務管理能力向上研修等の支援やJA等の労力支援組織が行う作業支援者と農家をマッチングするシステム構築や作業支援者の募集、省力化・軽労化の実証に対する支援を実施している。

◇ 労力支援システムの取り組み現状

県全体での取り組み

1. 県下7地域全体で労力支援システムが構築された。
2. 平成27年度のシステム運用実績は作業支援者421人、受益農家1,762戸。
3. 労力支援システムの運用により、産地規模や経営規模の拡大につながっている。

各地域の労力支援システムの現状と課題

※ 「県北型システム」・・・個人では周年雇用はできない農家数戸で、複数の作業員を雇用するもの。雇用契約は農家の直接雇用。

地域		稼働しているシステム	H27 農作業 支援者数	H27 受益 農家数	主な品目	課題
長崎・西彼		有料職業紹介(斡旋)	35	35	みかん	・農作業支援者の確保 ・農作業支援者の技術向上
県央	長田・小野・森山、高来、小長井	有料職業紹介(斡旋)	183	235	玉ねぎ、みかん	・作業支援者の確保(農家からの要望に応えられていない) 雇用希望人数に対する斡旋数 玉ねぎ 80% ばれいしょ 45%
	飯盛・有喜	有料職業紹介(斡旋)			ばれいしょ	
		人参作業組織(請負)			人参	・作業員の確保 ・農作業機械導入による効率化
	諫早市全域	いちごパッケージセンター(請負)			いちご	・作業支援者の技術向上、省力化機械導入による効率化
	大村・東彼	有料職業紹介(斡旋) いちごパッケージセンター(請負)			みかん、茶	・作業支援者の確保及び円滑な斡旋 ・作業支援者の技術向上、省力化機械導入による効率化(いちご)
島原	北部	農援隊(請負) 収穫班(請負)	34	580	大根、人参、白菜、レタス、しょうが、小松菜	・農援隊員の確保 ・農繁期(特に収穫時期)に申込みが殺到するが、ニーズに応えきれしていない。 ・夏場の品目の定着 ・収穫隊の若返り(平均年齢62~63才)
					大根、人参、白菜、いちご	・農援隊員の確保 ・収穫隊の若返り(平均年齢62~64才)
	いちご				・農援隊員の確保 ・夏場の作業確保	
	西部				〈西部基幹C〉 水稲、ブロッコリー、いちご、かぼちゃ、きゅうり 【南串地区】 レタス、ばれいしょ	・農援隊員の確保 ・ばれいしょ、レタス等の露地作物については農繁期(特に収穫時期)に申込みが殺到するが、ニーズに応えきれしていない。 ・夏場の作業確保
	南部				農援隊(請負)	ばれいしょ、玉ねぎ、いちご
東部	かぼちゃ等	・農援隊員が2名しかいないため、集中する時期は要望に応えられない ・夏場の作業確保 ・基盤整備率が低い場合、機械化による省力化が図りにくい。				
県北		無料職業紹介(斡旋) ※ 県北型システム 5 及び肉用牛ヘルパー組合 2	126	175	かんきつ、花き、野菜、肉用牛	・農作業支援者の確保 ・完全有料システムの構築 ・利用農家の資質向上
五島		有料職業紹介(斡旋) 期間派遣(試行) 肉用牛ヘルパー組合	7	80	肉用牛、高菜、葉たばこ、 ブロッコリー、種ばれいしょ	・農作業支援者の確保 ・園芸における周年雇用体系の構築、料金体系の設定・見直し。 ・肉用牛ヘルパーと組合員の確保による利用拡大 ・コントラクタ組織の収益性の確保と法人化 ・水稲防除組合の機械導入による効率化
壱岐		JAヘルパー事業 (人材プール型職業仲介)	34	610	アスパラガス、イチゴ、メロン、 水稲	・シルバー人材センターとの連携強化等による農作業支援者の確保 ・新規就農者確保対策と運動した若手農作業支援者の確保 ・農作業支援者の技能向上 ・現行システムの維持
対馬		農援隊(請負)	2	47	肉用牛、アスパラガス、しいたけ	・農作業支援者の確保 ・完全有料システムの構築 ・職業紹介事業との併用
			421	1762		

◇ 課題

1. **いずれのシステムでも作業員の人材確保に苦慮しており、多様な人材確保が必要。**
2. **また、農家のニーズに応えるためには、作業員の技術力向上が必要。**
3. **J Aの農援隊などのシステムは収支が赤字であり、システム安定化のための取り組みが必要。**
4. **現行のシステムのみでは、地域の多様なニーズに応えきれていない面もあることから、これをカバーする新たなシステムを構築する必要がある。**

(参考)地域労力支援システム強化支援事業 (H27~H29)

事業概要： 規模拡大志向農家や高齢農家等の増加によりシステムに対するニーズは今後も拡大する傾向にある。元気な高齢者や女性等多様な人材の確保、地域・システム間の連携を推進し、農作業支援者の技術向上研修、農作業の効率化や軽労化、農作業安全管理体制の強化等の取組を支援することでシステムの強化を図る。

